

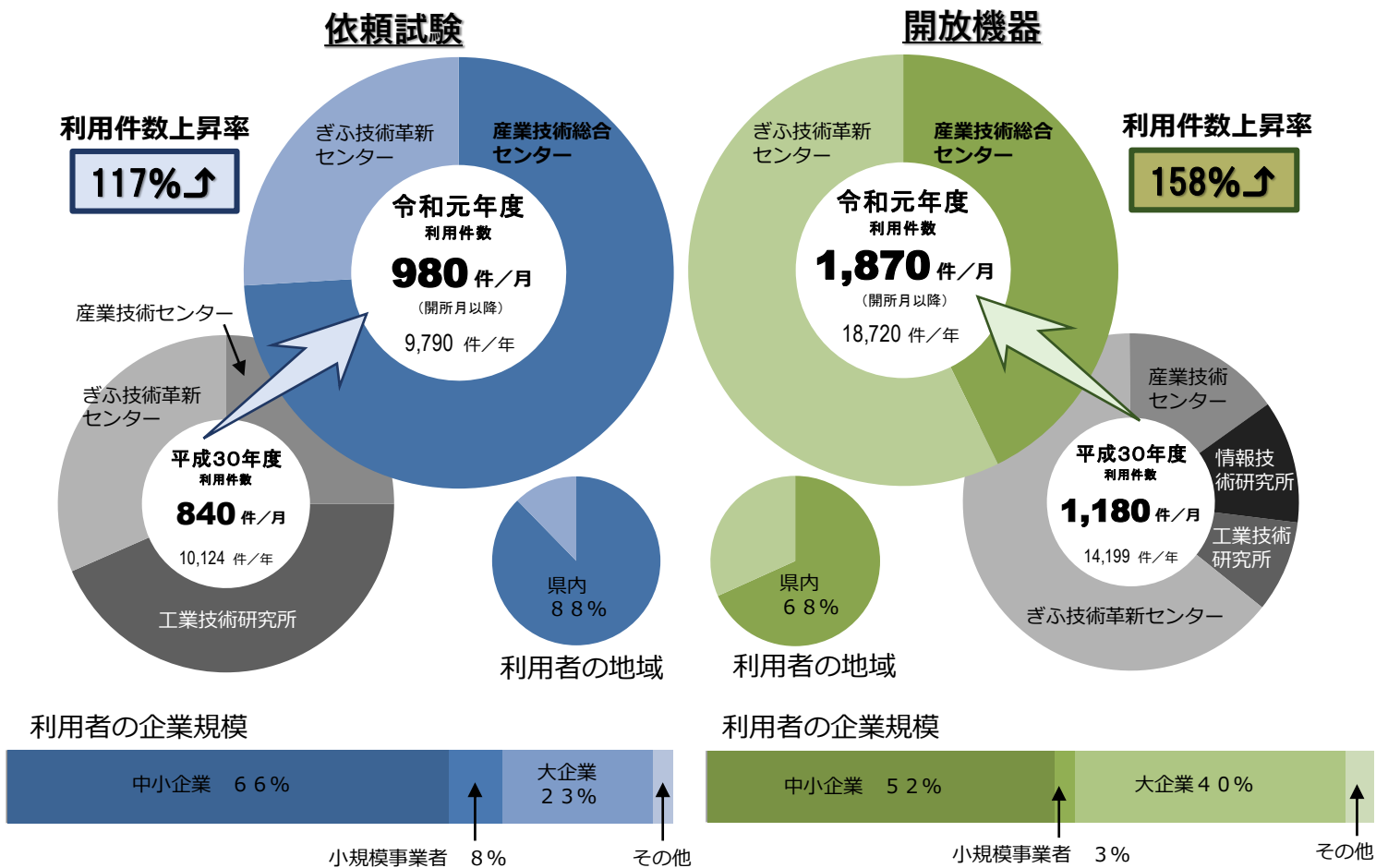


令和元年度の依頼試験と開放機器の利用状況について

当センターは、旧工業技術研究所、旧産業技術センター、旧情報技術研究所の3つの試験研究機関の機能を集約し、新たな研究開発・技術支援の拠点として昨年6月に開所しました。開所以来、機械・金属、化学、繊維、紙、複合材料、情報技術などに係る県内中小企業様の技術支援を実施しています。本号では、昨年度の依頼試験及び開放機器の活用状況について紹介します。

開所以降、ますます便利に！利用件数が大幅にアップしています！

依頼試験及び開放機器利用は、これまでも多くの事業者の方にご活用いただけてきましたが、3つの試験研究機関の機能を集約したことで、様々な分野の技術者や設備機器も1か所に集約され、利用者の利便性が大幅に向上しました。また、試験評価機器や試作加工機の分野横断的な利用も増加しており、統合前に比べて1月当たりの平均ご利用件数は、依頼試験では117%、開放機器利用では158%と大幅に伸びました。



令和2年度 次世代企業技術者育成事業

県内企業における技術者の不足や高齢化が大きな課題となっている中、当センターでは、次代の県内産業を担う技術者育成の取り組みを強化いたします。モノづくり全般に必要な品質管理から、各分野の専門技術、分野横断的な技術まで、様々な研修メニューを企画いたしました。ぜひご活用ください。

なお、コロナウイルスによる感染拡大状況によっては、開催時期の延期または中止となる場合がございます。開催時期など詳細は、随時ホームページでお知らせします。

○令和2年度 研修会・講演会一覧 上半期（4月～9月）

	研修等名称	内容（概略）	対象	場所	開催日	受講料	受講人数	担当部署
基盤技術研修	品質管理講習（基礎編・事例編）	各種製品の製造等において発生するトラブルの原因解析や防止に役立つ品質管理の基礎と具体的な事例の紹介。	製造業全般	産業技術総合センター	6月頃 午後5日間	無料	20～40名	産学連携部
専門技術研修	機械・金属課程	機械加工、材料試験などの座学と、硬さ試験、引張試験などの実習。	県内中小企業者等	産業技術総合センター	9～10月頃 のべ8日間	7,000円程度	30名程度	機械部・金属部
	シーケンス制御基礎課程	工場の製造装置等の自動化の基礎技術となっている「シーケンス制御」を、講義と実習により習得する。	県内中小企業者等	産業技術総合センター	9月中旬頃 3日間×2回	5,000円程度	12名程度	情報技術部
	IoT入門課程	IoTシステムの開発を想定して、データ収集や収集したデータを表示するアプリケーションのプログラミングについて、講義と実習により習得する。	県内中小企業者等	産業技術総合センター	9月下旬頃 3日間	6,000円程度	6名程度	情報技術部
分野横断応用技術研修	CAE活用	SOLIDWORKSを活用し、三次元CAD、構造・熱流体・樹脂流動解析に関する基礎知識を講義と実習で学ぶ。	県内企業等	産業技術総合センター	9月上旬頃 1日間	無料	10名程度	情報技術部
	EMC活用	EMC試験の規格および試験方法の概要、試験設備の利用方法を学習する。	県内企業等	産業技術総合センター	6.9.12月頃 1日×3回	未定	10～20名程度	技術支援部
	X線残留応力測定	金属製品に作用している残留応力の測定原理を聴講し、実機を使用して測定を体験する。	(職員) 県内企業等	産業技術総合センター	R2.10	未定	5名程度	金属部
	三次元計測（非接触）	非接触三次元計測システムの取扱い講座。～非接触三次元計測システムによる実演～	県内企業等	産業技術総合センター	8月下旬頃 1日間	無料	5名程度	情報技術部
専門技術講演会	繊維デザイン講演会	2020年S/S～A/W対応 メンズ海外コレクショントレンドセミナー。	繊維業界	じゅうろくプラザ	8月下旬頃 1日間	無料	50名程度	繊維・紙業部
	繊維デザインセミナー	2020-2021年秋冬テキスタイル傾向総括 2021年春夏のヒント。	繊維業界	毛織会館	10月頃 1日間	無料	50名程度	繊維・紙業部
	複合材料部技術講演会	CFRP等の複合材料に関する情報（材料特性、加工技術、評価技術等）を提供するセミナー。	複合材料関連企業など	産業技術総合センター	9月頃 1日間	無料	50名程度	次世代技術部

お知らせ

人事異動（令和2年4月1日付）

	（転出）	（転入）
副所長	桑原 秀幸	寺島 禎見
管理調整係長	大平 洋右	川島 百代
管理調整係	宮ノ腰 卓哉	市橋 隆之
管理調整係	—	横山 哲也
管理調整係	—	井川 雄貴
産学連携部	安藤 敏弘	—
産学連携部	北川 宗貴	—
技術支援部	—	浅井 博次
機械部	丹羽 孝晴	—
化学部長	倉知 一正	小川 俊彦

小河廣茂 技術支援部長が定年退職

小河部長が3月31日をもって、岐阜県職員を定年退職されました。小河部長は、閉庁後の退職セレモニーに参加され、「37年間はずっとの間でした。皆さんに支えられてここまでやってこれました」と感謝の意を伝えられました。職員からは「お疲れさまでした」の言葉とともに花束を手渡し、長年の労をねぎらいました。



小河部長は、電気機械分野に精通され、刃物の切れ味評価ロボット開発や材料の機械的特性などの相談対応、最近ではワンストップサービス総合窓口として活躍されました。今後も、再任用職員として勤務頂きます。